

少林寺拳法部 創部 50 周年記念祝賀会

生命歯学部少林寺拳法部・創部50周年記念祝賀会が、平成28年8月27日（土）飯田橋のホテルメトロポリタンエドモンドで開催されました。

来賓には、中原 泉 理事長・学長を始め、校友会から近藤勝洪会長の代理藤井重壽副会長（62回）、新潟生命歯学部少林寺拳法部顧問の影山幾男先生（71回）、東京辰巳道院長・遠藤 聡 先生、そして武道関係クラブから多くの来賓の先生方に出席をいただき開催することができました。鴨田博司先生（62回）を中心に創部された少林寺拳法部は、先輩の功績と継承してきた後輩のお蔭で、今日が迎えられたことは大変喜ばしいことと思います。

当日は、内川喜盛教授（74回）の進行で是澤恵三先生（62回）が開会の辞、鴨田OB会長挨拶、鈴木康仁

実行委員長（66回）の経過報告の後、物故会員5名の黙祷を行い、続いて鴨田先生より50周年記念品として、現役が部活で使用するボディプロテクター、胴袋、部活用パーカー、法衣等の目録が現役主将に手渡されました。

引き続き祝賀会では、来賓の中原理事長・学長を始め多くの方々から暖かい祝辞をいただきました。そして顧問の岡田智雄教授（73回）より挨拶があり、三輪 隆 先生（62回）の乾杯で祝賀会が始まりました。祝宴の参加者は100名を超え、全国から集まったOB・OGが昔話に花を咲かせ楽しい一時を過ごしました。

その後、各期の紹介スライドが内山誠也先生（67回）を中心に当時の活動状況も紹介され、ますます祝賀会が盛り上がりました。現役主将

の挨拶・幹部紹介の後、演武が披露され関東学生連盟からも祝宴の演武が披露されました。昔と変わらない力強い野村 充 先生（65回）音頭の下に部歌・校歌が斉唱され、青春時代の楽しい思い出に浸りながら過ごすことができました。

最後に、米山武義先生（68回）の振子突き、神山友孝先生（63回）の閉会の辞でお開きとなりました。

昭和42年に創設された少林寺拳法部は、「半ばは自己の幸せを、半ばは他人の幸せを」の自他共栄の精神が少林寺拳法の基本理念であり、これを修行した多くの拳士が、現在大学や社会で活躍しております。

記録としては、歯学体において当部の1期から5期まで連続優勝を始め、全日本・関東学生大会での優秀演武を獲得するなどの成績を取ることができましたのも貴重なエピソードとして記載しておきます。歯科大学のみならず多くの大会で活躍できたことは、人と仲間に恵まれてきたことと、それぞれの時代の部員の努力と汗の結晶だと思えます。

これからも日本歯科大学の建学の精神に学び、今年110周年を迎える大学の指導の下、精進しながら大学とともに歩んでいければと思います。

最後に、ご指導ご協力いただきました関係各位に感謝致しますとともに、ますますの発展を誓い新たな一歩を歩んで行きたいと思えます。

（鈴木康仁・66回記）

